



# はんのう 民児協だより

発行/飯能市民生委員・児童委員協議会  
編集/広報委員会  
事務局/飯能市福祉部 地域福祉課内  
TEL(042)986-5081(直通)

## 5年ぶりの県外研修を実施(令和6年12月15日~16日) 吾野地区民児協 会長 鈴木 正男



新型コロナウイルス感染症の影響で、5年ぶりの県外研修となりました。今回は、飯能市と友好都市の高萩市(茨城県北東部)の民児協との交流会を目的として実施しました。

多くの方々の歓迎をうけ、心温まる思いでした。交流会冒頭にて、高萩市大部勝規市長よりご挨拶を頂き、

そのなかで、高萩市と飯能市の友好都市提携は、江戸時代、現在の高萩を長く治めた水戸藩附家老「中山家」の祖である中山信吉公の出身地が飯能市であったという歴史に基づいて、提携がなされたというお話がありました。

### <2つの災害の状況報告と支援活動・高萩市民児協>

#### ●2011年3月11日 東日本大震災

震度6強で津波の高さは3m程度、死亡者1名と他の被災地に比べれば、被害は少ない方だったが、建物被害、道路被害、ライフラインは破滅的であった。民生委員自身も被災者であり、被災直後は連絡手段もなく、個人としても組織としても、民生委員としての活動が出来なかった。

#### ●2023年9月8日 台風13号による豪雨

線状降水帯が発生し、総雨量が300mmを超え豪雨となり、住宅等の床上・床下浸水、土砂崩れ、道路の不通箇所発生、河川の氾濫など、市内各所に多くの被害が発生した。



高萩市民児協  
沼田会長



高萩市民児協  
鈴木副会長

両災害とも、被災者の支援に必要な情報を速やかに共有し、被災者・被災地の一日も早い復興を行うため、ボランティア活動を効果的・効率的に展開することを目的に「高萩市災害ボランティアセンター」を設置して復興を図った。民生委員も活動に参加し、被害状況の把握、どんなことが求められているかを調査した。

台風13号の際は、東日本大震災の教訓を受け、スムーズに対応できた。現在は災害に備え「災害時要援護者リスト」の作成などに取り組んでいる。

### <研修を終えて>

飯能市は比較的自然災害は少ない地域ですが、被災したことを想定し、民生委員・児童委員協議会として「平常時からどう備えるか」「実際の活動ポイントは何か」について話し合い、検討すべきだと思いました。災害時に要援護状態となりうる世帯(高齢者のみの世帯・障がい者・子育て中の世帯など)を把握するためにも日常的に行なっている「見守り活動」「訪問活動」こそが、重要であるという思いをあらたにしました。安否確認や避難誘導を円滑に行うために、自治体に対して要援護者リストの作成や整備する時の情報を提供することが民生委員・児童委員の重要な役目でもあります。これからも、地域住民が安心・安全に暮らせるよう民生委員としての責務を果たしていきます。



## ご存知ですか？「受援力」

市民の皆さんに読んでいただける「民児協だより」にしたいという思いから、2020年81号から紙面をリニューアルしてお届けしてきました。その間、広報委員会での話し合いの中で、「対処ではなく、**予防福祉（予防としての福祉）**を目指せないだろうか？」という問いが立ち上がってきました。

健康面では、病気にかからないように、バランスの良い食事や適度な運動をしたり、定期的に検診を受けるなど、予防医療が必要だということに異を唱える人は少ないかと思えます。それと同様に、<sup>おおごと</sup>個人が抱える様々な問題を、一人で抱え込むことなく、相談や支援につながることであれば、大事にならずに済むのではという思いからでした。

そこで、今号では「**受援力**」という言葉を紹介したいと思います。

「受援力」というのは、もともとは内閣府・防災担当がボランティアを地域で受け入れるための環境整備、知恵のために提唱した言葉、2011年の東日本大震災以降、徐々に知られるようになっていますが、ご存知の方は少ないのではないのでしょうか？



【他者に助けを求め、快くサポートを受けとめる力】＝【受援力】を積極的に推奨する医師でもある吉田穂波さんは、無料でダウンロードできるリーフレットも公開しています。是非、参考にしてみてください。 <https://honami-yoshida.jimdofree.com/>



## 「助けて」と言いやすい地域社会に

「人に迷惑をかけないように」子どもの頃から、とかく聞かされてきた言葉だと思います。「自分が頑張らないといけない」「育児や介護など家族のことは家族内で解決しなくてははいけない」そんな思いから言葉を飲みこんでしまっただけではないでしょうか・・・

市内に住むUさん（右記）は、悩みや不安を開示することは簡単なことではない、それでも、一人で頑張り過ぎないことが大切だと思うので、自分も受援力をもてるようにしたいと話してくれました。

去年1年間に自殺した人は全体で2万268人と過去最少の水準となった一方で、児童・生徒は527人にのぼり、これまでで最も多くなりました。困難な事態に直面した時に、歯を食い縛って立ち向かうことだけが解決策ではないことを示していくことも必要なことかもしれません。自分の弱みをさらけ出してSOSを出すためには「何を言っても非難されない、ダメ出しされない」という安心感が担保されることが必要です。

少子高齢化が進み、一人世帯が増加傾向にあり、また、甚大な自然災害が発生する可能性もある現代。「遠くの親戚よりも、近くの他人」という諺もあるように、支え合う地域社会になっていくことが望まれており、民生委員・児童委員がその一助となれるよう努めていきたいと思えます。



## 弱音を吐くことができず

### 自ら死を選んだ母

Uさん（60歳・女性）

30年前に他県で離れて暮らしていた母の訃報（享年65歳）を電話で突然に知られることとなりました。その何年か前に体調を崩して、退いた父に代わり兄2人と会社を経営し、継続が困難な状況ではありましたが、長く働いてくれている社員（従業員100人程）のことも思い、辞めることができずにいました。忍耐強い性格の母は、健康面でも問題を抱えながら、家事は女性がするものと、人生のほとんどが睡眠が十分にとれない日々だったと思います。

亡くなった当日は、孫のイベントに参加し、近所の方に「楽しい1日だった」と笑顔で話していたと聞きました。

参照\*東北福祉大学のHPには以下のように記載されています。

東北福祉大学が目指す21世紀型福祉は「予防」がキーワード。病気や介護が必要になる前に、「あらかじめ備える」という福祉の新しい考え方です。・・・<途中略>・・・福祉の実践現場で「予防福祉」の実現をめざしています。



あわせてお読みください

「はんなーら・4月号」に「地域社会での絆を活かした予防福祉」と題して広報委員会が寄稿しております。

## 「緊急情報キット」配布活動 東吾野地区民児協会長 小作重夫

東吾野地区民児協は、民生委員・児童委員6名、主任児童委員2名で活動しております。山間地域で人口約1600人、高齢化率約50パーセントと少子高齢化が進んでおり、高齢者が生き生きと暮らせる地域にしてゆくことが最大の課題です。主な活動として、高齢者の「見守り活動」を各地区委員が行っております。

年度初めの定例会で、ある委員から高齢者を訪問するのに、新たな話のきっかけになるような資料を探しているが、適切なものが無くて困っている。との話が出ていました。その後、ある高齢者から「緊急情報キット」があれば欲しいと言われたとのこと。「独居高齢者の孤独・孤立対策」が問題になっており、今まで訪問しづらかった支援の必要のない高齢者の方にも役立つと考え、新たに配布活動を始めました。当初は記入が面倒でなかなか書いて頂けないと思われましたが、民間会社の見守りサービスを検討していたので大変ありがたいと言って下さる方も居られ、役立って良かったと思っております。その方には、市の有料見守りサービス「緊急時通報システム」も紹介しました。今後も継続して活動していきたいと考えております。



見守り  
今日も笑顔の  
架け橋に



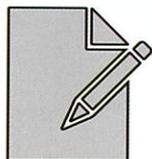
緊急情報キットを  
ご活用ください!

### 緊急情報キットの使い方

透明なプラスチック等の容器に本人情報シート(連絡先・持病や服薬など必要な情報を記入した用紙)や健康保険証の写しなど入れる。

↓  
冷蔵庫の目立つ場所に保管。

↓  
緊急情報キット表示ラベルを玄関の内側と冷蔵庫に貼る。



飯能市  
緊急情報キット表示ラベル



いつ起こるか分からない災害や緊急時、駆けつけた救急隊員等が、「かかりつけの医療機関」「服薬」「持病」などの医療情報を医療機関等に伝えるための道具です。駆けつけた救急隊員等が取り出し、迅速・適切な対応につなげます。

### 緊急時には・・・

- ① 119番通報
- ② 救急隊員が緊急情報キットの中を確認します。
- ③ 救急隊員から医療機関へ必要な情報を伝えられます。



救急車を  
お願いします。

持病に糖尿病があり、  
〇〇薬を服用  
しています。



分かりました。



### 現場からの声

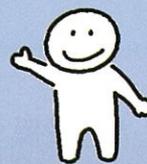
2040年には一人世帯の割合は  
40%に達すると予想されています。

枝切りの作業中の男性が、誤って木から落下し意識不明に。すぐに救急搬送されたものの、一人暮らしで連絡先が分からず、対応に苦慮する事態も発生しています。

「もしも」に備えていただきたい  
と思います。

◎緊急情報キット表示ラベルは  
玄関の内側へ!

玄関の外側に貼ると、悪質な訪問販売などトラブルに巻き込まれる可能性があります。



◎冷蔵庫が保管場所である理由

冷蔵庫はほとんどのお宅で台所にあり、駆けつけた救急隊員等がすぐに緊急キットを見つけられます。また、地震で家屋が倒壊しても冷蔵庫は比較的つぶれにくいからです。

お問い合わせ

お近くの民生委員・児童委員  
または市の防災危機管理室  
973-2723 (直通)

## 狭山市民児協広報部会と交流研修会開催

令和6年12月11日 飯能市役所 5階会議室



狭山市民児協広報部の方々が飯能市役所にお越しください（田口広報部会長、他9名）飯能市民児協広報委員会のメンバー（12名）との交流研修会が開催されました。飯能市の「民児協だより」は市民の方々にも回覧という形でお届けしていますが、狭山市は、民生委員・児童委員の他、関係機関のみで閲覧されているとのことで（発行部数600）自ずと掲載すべき内容に違いがあるなど、様々な意見交換がなされました。また、民生委員の担い手が不足していることや、日常の活動において苦慮しているなども話し合わせ、和やかな雰囲気の中で行われ、良い交流の機会となりました。



狭山市広報部 菊地副会長 田口会長



### ちょっとホッコリ

月に1度開かれる「茶の間」という「たすけあいあがの」主催の会があります。

そこでいつも温かい気持ちになって帰ってきます。なぜだろうと思っていると、新聞の記事の中に、1日平均4回以上「ありがとう」と声に出して伝える人は「人生の幸福度」が10点満点中7.1点とありました。来られる方々が「ありがとう」や「お陰様でね」と語られる姿に、私自身も自然と言葉にしていました。

「ありがとう」という言葉でつながる関係を大事にしていきたいと思います。



### 編集後記

今号で紹介した「受援力」を推奨している吉田さんは、頼ることはつながることで、受援力は受縁力、相談することは相手に対する信頼の証。自分が頼ることで相手の自己効力感がアップし、お互いの健康状態を向上させると述べられています。「ちょっとホッコリ」に書かれているように、お互いが「ありがとう」の感謝の気持ちを表すことが大切なことだと思いました。

現広報委員会のメンバーでお届けするのも残り1号となりました。今号でも、少し触れましたが、次号では、改めて、「人権」に関して、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

## 飯能市民生委員・児童委員協議会全体会

令和7年2月5日 市民会館小ホール

令和6年度の事業報告（下記）と令和7年度事業計画の打ち合わせが行われました。



### 生活援護部会

- 6月 生活保護制度及び生活困窮者自立支援制度についての研修
- 10月 無料低額宿泊所見学



### 児童福祉部会

- 6月 飯能市の子育て支援についての研修
- 10月 こどもが巻き込まれる事故・事件の実態を知り、犯罪や対策を学ぶ



### 高齢者福祉部会

- 7月 認知症・孤独死についての研修
- 10月 高齢者と車両に乗車する際の介助方法などの研修



### 障害福祉部会

- 6月 飯能市の障害福祉施策の研修
- 10月 第30回飯能市福祉スポーツ大会視察



### 主任児童委員会

- 7月 飯能高校すみっこ図書館、にこにこハウス視察
- 1月 こども食堂・こどもの居場所についての研修
- 3月 情報交換会

世界人権宣言  
第一条

わたしたちはみな、生まれながらにして自由です。ひとりのひとりがかけがえのない人間であり、その値打ちも同じです。

だからあなたがいによく考え、助けあわねばなりません。

福祉（人々の幸福）を考える時、様々な困難に直面している人のことを思う時、その根幹にあるものが「人権」ではないでしょうか。

上記は、昨年末に亡くなられた谷川俊太郎さんが、分かりやすい日本語に翻訳したものです。誌面の都合上、全文を掲載することはできませんが、以下URLで、是非、ご覧になってください。

<https://www.amnesty.or.jp/lp/udhr/>